

「持続可能な年金制度の確立に向けて」～未来につなげる安心と信頼～

年金総合研究所シンポジウム

公的年金運用のあり方

日時：2014年3月14日(金)
14:30～16:30 <受付開始14:00～>

場所：東海大学校友会館 朝日の間
霞が関ビル35階

基調講演

14:35～15:20

演題：年金積立金運用の現状と課題

講師：厚生労働省 大臣官房 参事官 森 浩太郎
(資金運用担当)

パネルディスカッション

15:30～16:30

テーマ：公的年金運用と我が国の金融・資本市場

- パネリスト 日本証券業協会 会長 稲野 和利
- パネリスト 名古屋市立大学経済学研究科 教授 白杵 政治
- モデレーター 大妻女子大学短期大学部 教授 玉木 伸介
(元GPIF 審議役・企画部長)

公的年金運用改革の有識者会議報告を受けて、市場では年金積立金管理運用独立行政法人(GPIF)の資産配分見直しや、運用ユニバースの拡大に関心が集まっています。しかし、GPIFが運用収益の極大化を図る方法論のみでは、政策論としては不十分と考えられます。そこで次の2つの論点により、シンポジウムを開催します。

1. 金融・資本市場の高質化
2. 専ら被保険者・受給者の利益のためという理念との関係

後援

協賛